学校番号	T3005

平成31年度　国語科

教科	国語	科目	古典B	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	新編　古典B　改訂版　（大修館）						
副教材等	無						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・スクーリングにはすべて出席し、授業中は集中して取り組むこと
・日々のレポートは必ずすべて完成させ、各考査ごとに提出すること
・古典を通して日本の文化に触れ、自分のものの見方を広げる授業である
・1年次国語総合で学んだ基礎を活かし、過去の名作を読む授業を行う

2　学習の到達目標

・古文、漢文を読む能力を養い、ものの見方、感じ方、考え方を広くする
・日本古来の文化に触れながら、自らの人生を豊かに生きる態度をはぐくむ

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：読む能力	c：知識・理解	d：	e：
観点の趣旨	古典を読む力を高めるとともに、古典についての理解、関心を深め、自分のものの見方を広げようとしている	古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、考察したりして、自分の考えを深め、発展させている	伝統的な言語文化および言葉の特徴、決まりなどを適切に理解し、身につけている		
評価方法	出席状況 授業態度 暗唱	授業態度 記述の確認 （レポート） 定期考査	記述の確認 （レポート） 定期考査		

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c		
4 5	随想	教材： 「徒然草」 「枕草子」	○	○		a：筆者のものの考え方と自らの考え方を比較し、自分のものの見方を広げようとしている b：筆者のものの考え方を読み取り、そこに自分を重ね合わせて比較しながら読むことができる	a：授業態度 b：記述の確認（レポート） 定期考査
6 7	軍記物語	教材： 「平家物語」	○		○	a：時代背景を念頭において作品を読み、当時の社会を考えながら理解しようとしている c：文学作品としてだけでなく、歴史上の事実や社会とともに理解している	a：授業態度 記述の確認（レポート） c：記述の確認（レポート） 定期考査
9	和歌	教材： 百人一首		○	○	b：和歌であるからこそ伝わる感情や文化を意識しながら読むことができる c：日本古来の文化である和歌の決まりを理解し、正しく詠むことができる	b、c：記述の確認（レポート） 定期考査
10 11 12	物語	教材： 「源氏物語」	○	○		a：人物描写などの情景だけでなく言葉の美しさ、表現の豊かさを意識しながら長編物語を読み、日本文学の最高峰に触れようとしている a：声に出して暗唱することで、表現の特徴をより深く味わおうとしている b：物語の情景とともに、表現の特徴などを意識し、正しく読み取ることができる b：作中に自分を投影することで、より深く作品を味わう	a：出席状況、授業態度 暗唱 b：記述の確認（レポート） 暗唱、定期考査
1	漢詩	教材： 「絶句」「送友人」		○	○	b：詩に込められた思いを読み取り、それを自分の言葉で表現することができる c：漢詩の決まりを適切に理解し、正しく読むことができる	b、c：記述の確認（レポート） 定期考査
2 3	三国志	教材： 「諸葛亮の死」	○	○		a：三国志に興味を持ち、その人物像や関係性を読み取ろうとしている b：歴史の中から生まれた故事成語を理解し、自らの表現を豊かにしている	a：授業態度 記述の確認（レポート） b：記述の確認（レポート） 定期考査

※表中の観点について　　a：関心・意欲・態度　　b：読む能力
c：知識・理解

※年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）ですべての観点について評価することになるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている